

税について

みなさんは税と聞いてどんな印象を持ちますか？私はあまり良い印象を持っていませんでした。理由は、私の親や家族が時々ニュースなどを見ながら「税金が高い」と悲しそうにつぶやいていることをよく耳にするからです。なので、私は税金というのは具体的にどういうものなのかを調べてみました。

税の種類には様々なものがあると聞き調べてみた結果、主に、消費税・所得税・住民税・法人税・酒税・たばこ税・関税など色々な税があることが分かりました。その中で、私達の一番身近な税として消費税があります。現代の食品の消費税は8%ですが、私の祖母の時代は長い間消費税が全くかからなかった年月もあったそうです。時代が変わるにつれて消費税も上がっていく、ということが分かりました。

次に消費税が一番高い国を調べてみました。その結果、ハンガリーが27%という高い国でした。その理由は、塩分・糖分の高い食品に課税する「ポテトチップス税」が導入されていることからも税金に対する意識の高さが高いからです。そのため人々が健康になれば長生きしてくれるため、国に税金が入り、国の成長にもつながり、とても良い税金だと思いました。消費税を高く支払うというのはデメリットだけではなく、学費や医療費無料といったメリットもある国もあります。

それに続いて次に一番消費税が低い国を調べたところ、同率一位で台湾とカナダが5%という低い国でした。理由は、カナダの場合、財政が安定しているからこそ、税金が安く済んでいる国の一つだからです。次に台湾の場合、国全体に「社会保障に頼らず自立しよう」という文化が根付いているからです。

消費税は、社会全体にさまざまな影響を与える複雑な制度だと思います。消費税の是非を議論する際には、経済効果、社会への影響、そして国民への負担など、多角的な視点から検討する必要があると思いました。

また、消費税は、経済活動の活性化にも影響を与えたいと思います。消費税の導入によって企業は価格転嫁を行い、消費者の購買意欲が低下する可能性があります。一方で、消費税の導入によって、政府の財政状況が改善され公共投資の拡大や景気刺激策の実施が可能になるという見方もあると思います。

消費税は、社会にとって重要な財源である一方で、国民生活への影響も無視できません。消費税のメリットとデメリットを理解し、将来の税制について、国民全体で議論していくことが重要だと思いました。

私たちの時代は、少子高齢化です。これからも税金が上がっていくと思います。私たちの税金がどのように使われているか、説明してくれるのを望んでいます。